

編 集 後 記

本誌をご高覧賜り、誠にありがとうございます。本学友会誌は、新たに本学へ入学された皆さま、ならびに在学生の皆さまが、これからの大学生活をより有意義かつ充実したものとしていただけるよう、その一助となることを願い、私たち学生の手で編集いたしました。編集委員一同、学友会の歩んできた歴史や多岐にわたる活動を通じて、「学友会とはいかなる組織であるのか」という問いにお応えするとともに、皆さまの大学生活に対する期待や関心を高めるきっかけとなればと考えております。

私ども自身も、昨年度の学友会活動を通じて、数多くの貴重な経験を重ねてまいりました。学業との両立に悩みながらも活動を続ける中で、学友会に所属していたからこそ経験できた企画運営や人とのつながり、そしてそこから得られた学びは、私たち学生にとって他に代え難い大きな財産となりました。学友会が長年にわたりその歴史を築き、学生生活を支えてきた意義の大きさを、活動を担う一員として改めて実感しております。また、学友会の諸活動が、学生一人ひとりの自主性と熱意に支えられて成り立っていることを、日々の活動を通して強く感じております。本誌を通じて学友会活動への理解を深めていただき、今後、無理のない形で関心を持って関わっていただけましたら幸いです。

本誌の編集・制作にあたっては、限られた時間と人員のもとで進める必要があり、決して容易なものではありませんでした。原稿の依頼や内容の調整、編集作業など、戸惑う場面も多くありましたが、先生方、企業の皆さま、そして学友会メンバーの温かいご支援とご協力により、無事に刊行の運びとなりました。この経験そのものも、私たち学生にとって大きな学びとなっています。この場をお借りして、関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

結びに、昨年度に学友会が運営した六送会では、卒業生の皆さまや先生方の多くの笑顔に触れることができ、私たちにとても大変印象深い時間となりました。一年間の運営を通じて困難に直面することもありましたが、仲間と協力しながらそれらを乗り越えた先で得られる達成感と喜びは、学生生活の中でも特に忘

れがたいものです。新入生の皆さまにおかれましても、さまざまな経験を積み重ねる中で、困難の先に「挑戦してよかった」と感じられる瞬間がきっと訪れることと思います。皆さまの大学生活が実り多く、充実したものとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。

学友会誌編集委員一同
(山口絃生 記)

